

●新春座談会
～夢をたくして、合併へ～

迎春



第44回秋田県芸術展覧会 入選作「母の決意」
菅生 誠子(大倉)

※広報いかわ No.553

※編集・発行／井川町役場情報課

〒018-1596 秋田県南秋田郡井川町北川尻字海老沢樋ノ口78-1

☎018(874)4413

FAX(874)2600

※印刷／秋田協同印刷(株)

人口などの動き
(12月1日現在)
・人口 男 2,889人(－34)
女 3,201人(－8)
計 6,090人(－42)
・世帯数 1,746戸(+16)
()内は前年同月との比較

慶 弔 だより

(11/8～12/16)

■お誕生おめでとう

伊藤 光歳(竹美・とみ子・二男)小今戸
菊田 翔(宜紀・千秋・長男)小今戸

■ご結婚おめでとう(転入)

藤田 仁 羽立(新本籍)(新住所)
大原 恵美 能代市 羽立(羽立)
鎌田 道弘 天王町(新本籍)(新住所)
小林理佐子 施田 施田(施田)

■ご結婚おめでとう(転出)

畠山 将志 海老沢 海老沢(飯田川町)
近藤 睦樹 琴丘町

■お悔やみ申し上げます。

櫻庭 ヒサ子(68歳・本人)羽立
伊藤 オキイ(83歳・本人)小今戸
鷺谷 千代(87歳・妙子)海老沢
伊藤 直正(74歳・本人)街道
鎌田 兼五郎(82歳・本人)小今戸
草階 キエ(97歳・正巳)井内
中道 チナ(92歳・本人)網木沢

善意

■地域福祉基金へ

- ・海老沢町内の鷺谷荘作さんより亡母千代さんの香典返しとして3万円。
- ・海老沢町内の児玉昭男さんより亡父重男さんの香典返しとして3万円。
- ・小今戸町内の鎌田利男さんより亡父兼五郎さんの香典返しとして3万円。
- ・館岡町内の小林千鶴子さんより亡夫久さんの香典返しとして5万円。
- ・井内町内の草階正巳さんより亡母キエさんの香典返しとして3万円。
- ・羽立町内の故半田甚八さんのご家族より生前のお礼として10万円。

■桐ヶ丘療護園へ

- ・更生保護婦人会の皆さんより清拭布の縫製ボランティアをしていただきました。

“ありがとうございました”

施設の利用状況(11月)

()内は累計

- 環境改善センター……………1,516人(9,573人)
- 歴史民俗資料館……………42人(474人)
- 町民体育館……………1,080人(14,155人)
- 町民武道館……………964人(6,653人)
- 町営野球場……………0人(3,816人)
- ふれあいスポーツ館……………194人(1,038人)
- 定住促進センター……………2,055人(16,889人)
- 日本国花苑施設……………309人(12,215人)
- 老人福祉センター……………1,765人(12,999人)
- ゴミ処理量……………81t(720t)
- し尿処理量……………123ℓ(966ℓ)



寿峰流創立記念発表会

生き生きタイム

〈50〉

新日本舞踊寿峰流

昭和六十一年「日本舞踊瑞穂流寿見珠会」として、井川町芸術文化協会に入会させていただいてから、創流寿峰流となった現在まで社中一同、お稽古に発表会にがんばってきました。今ではみんなが、単に好きだった踊りから、生き甲斐とまで思えるようになり、一人一人が、踊りによって、生かされていると感じるまでになりました。

月3回の
お稽古では
ありますが、
その時間を
作るために、
日常生活を無
駄なく過ごし、
女として、母
としてまたそ
れぞれの役割
をきちんと果
たして初めて、
自分の充実し
た時間が持て
ると、お互い
に励まし合っ
て、日頃のお
稽古を楽しく
しております。
そうしたこと
もあって、今
では、みんな
家族同様の間
柄となり

ふれ合いのよろこび

力の甲斐あって、寿峰流創流が認められ、一同、益々心をひとつにして進みたいと思っています。

創流記念発表会では、皆さんの町民の方々に、温かい励ましをいただき、盛会のうちに終了することができました。これからも見て下さる方に感動を与え、自分の生涯の一部としてがんばっていきたくと思っています。

(家元 鷺谷恵美子)

踊りから離れた部分でのふれあいや交流も大切にしています。

社中には3歳から70歳を越えた方までいて、年齢に大きな差がありますが、年を感じさせない舞になるよう、日々努力は欠かせません。でも、ただ敵しいお稽古のみが舞の上達につながることも限りませんので、和気あいあいのお茶の時間や、笑いを招く冗談話など、みんなで心のリラック

あけましておめでとうございます。

新年号の表紙を、菅生誠子さんの展覧に入選した写真をお借りして、飾らせていただきました。菅生さんのお嬢さんが嫁がれて数年が経ち、待望の赤ちゃんと誕生されたそうです。写真には、大きな喜びは、これからの子育てに立ち向かうことへの堅い覚悟に裏打ちされたものでなければならぬといふ、母の深い愛が溢れています。幼児虐待や子育てを放棄する母など、信じられない事件が多くありますが、それは一握りの方のことで、やはり多くの方は、愛情いっぱい子育てにがんばっていらっしゃいます。また時代の背景がそれを見えにくくしている部分もありますが、だからこそ、こういう場面に気づくと、感動したり、眠っていない温かい心が目覚めたりするのではないのでしょうか。

年末、大型店や百貨店は「ど」が不況かしら」と思うほどで賑わっていましたが、不況の波は確実に私たちの生活に押し寄せてきています。お金の無さが心の貧しさにつながりますように、今年は年末にあやかってのんびり穏やかに過ごせようと思っています。

今年もよろしくお願いたします。

編集後記

ひとりごと

夢をたくして 合併へ



新春座談会

市町村合併を考える ～町づくりに夢を語る～

合併に対する思い

町長 あけましておめでとうござい
ます。昨年は、国や県が強力で推し
進めたこともあって市町村合併が慌
ただしく動き出しました。井川町で
は春に、合併をテーマにまちづくり
懇談会を行ってあります。そこでは
慎重論が大勢を占め、また合併の範
囲も湖東5町というのが、最大公約
数だったと受けとめています。平成
11年末に行ったアンケート調査で
は、賛成20%、反対35%、わからな
い40%となっております。その後
合併論議が盛んになるにつれ、近頃
では、小さい自治体からは各権限を
取り除けという声まで出てきていま
す。財政的にもここ2年は地方交付
税で8%程度の減、今年は10%減ら
されると先頃発表がありました。

今日は、集まっていたいた皆さん
から、合併に対する考え方などお
聞かせいただきたいと思っています。
鷺谷 明治、昭和、そして平成の合
併とその時代その時代のメリット、
デミリットを私なりに考えてみたり
します。

伊藤 合併は行政間のことのような
気がしてあまり興味を持ちませんで
したが、私が幼い頃、上井河村と下
井河村が合併し、幼心にかなり紛糾
して、親たちが子供たちに登校拒否
をさせるところまで発展したこと
等、断片的に覚えています。

合併は選択肢を広げる

工藤 浦和・大宮・与野市の合併で
できたさいたま市に住んでいる大学
時代の友達も、やはり毎日の生活は
変わらないといひます。

でも家族で合併のことについて話
した時、例えば、弟が中学校の時は
剣道部があつて入部できたけど、妹
の時は剣道部がなくなつてしまし
た。スポ少でがんばつてきたものが、
中学校では続けられない。こういう
実情にあつて、もし合併して公立の
中学校を選択できたなら、剣道部のあ
る八郎潟中でも五城目一中でも入学
できることになればいいなあと話し
ました。どこの学校でも生徒が減つ
ていつて、部活動の存続が怪しくな
つてきています。合併によって生徒
たちへの選択肢が広がればいいと思
います。

また、今は保育園も統合になつて、
保育園から中学校までみんな一緒
ということはいよいよで、井川から
出たとき、高校生なんかになつた時、
問題が出るように思います。

沢石 私も子どもを井川の幼稚園に
入れるか、私立の幼稚園に入れるか
迷つたことがあります。なぜかとい
うと、いろいろな選択ができる中で
生きてきたのに、井川だと0歳から
15歳までかこのなかに守られて、雑
菌もなくそれでいいのかと思つたか
らです。近所に友達がいなかったら

るようにも思えるし、今の人は地域
に対する思いが薄いかなとも思いま
す。

合併は、井川町のことだけ考えれ
ばいいわけではなく、相手のあるこ
とだし、財政面を考えれば単独のま
までもいいけないような気がします。

沢石 私は、仙台市出身です。仙台
市・泉市・宮城町との合併を経験し
ましたが、自分の生活は変わらない
ということ。泉市の発展がめざ
ましく、住環境が整えば人は集まっ
ていくと思います。井川町と仙台市
では比べられませんが、このあと合
併に向かつていくのであれば、活力
ある町になつてほしいと思います。
今は、農村部だけでなく、都市部だ
つて人口の減少はみられます。人
のかかわりを大切に井川の特徴を生
かせるような合併であればいいと思
つています。

町長 宮城県第1の都市仙台市と第
2の泉市の合併は、政令都市になる
という戦略的なものでした。合併後
は地下鉄の建設などもあり、泉地区
の人口は増え大きな効果をもたら
したと聞いています。合併に対しては
特徴を持った町づくりが大切で
すが、秋田県の場合はいまのところ人
口増は考えられない状況です。

沢石 井川町は秋田市への通勤圏内
だと思ひますので、井川町をイメー
ジアップして秋田市のベッドタウン
としての発展は考えられないでし
ょうか。



私が県外に就職した頃は、まだ井
川町で周辺町村からも知られていな
い村だったように思ひます。でもそ
のあと昭和54年にまた井川に住むよ
うになつた時は、かなり知られた町
になつていて、子供たちの学力もレ
ベルアップしていました。スポーツ
面でもがんばつていて教育の町のイ
メージが定着していたと思ひます。
そういうことを思ひ出していくと合
併もいいかなと思ひます。

町長 確かにあの当時、上井河村と
下井河村、それに飯田川も合併する
ことになつていたが、間際になつて、
飯田川の議会が否決して、2村の合
併となつたようです。スムーズに合
併はしたものの中学校の統合を巡つ
て、建設反対デモなんかがありまし
た。

藤田 今から6年
前、すでに青年会
議所などでは合併
問題を取り上げ、
住民の意識を変え
ようとした動きが
ありました。合併
のために、もめた
という話を聞くと、
昔の人はむしろ町
づくりを意識的で
あつたと言える
と思ひます。今の
人はどうなんだろう。
秋田を離れて初め
て地元が見えてく

出席者

後列 左より

鷺谷 宝一さん (海老沢)

藤田 芳哉さん (田中)

工藤 智経さん (今戸)

前列 左より

沢石 美香さん (井内)

斎藤 正幸町長

伊藤 良子さん (坂本)



中学校を選んで
進学できる。
そんな町もたのしいと
思う。

合併で「もめる、という
ことは町づくりに
意欲あることだと思う。



町長 合併してもこれだけは守りたいと思うことや、井川はこうでありたいという期待はありますか。
伊藤 合併しても拠点は自分の町におきたいですね。例えば湖東5町が合併したら、地理的には中心だし、駅は整備され集客をねらえるショッピングセンターなど、285号線沿いはこれから発展が期待できると思いますが、いかがでしょう。

合併に期待するもの

伊藤 やはり広範囲の合併だと、井川の特徴が薄らいで、全国に向けての発信はどうなるかと思っています。

もうなげます。

町長 諸証明の手続きはそれでいいとして、情報インフラはどのくらい整備できるかという問題があります。インターネットが普及し、町内でも多くの情報をより早く提供できる時代になりつつあり、対人サービスは低下していくと思われま。地理的・物理的条件を考えたら湖東5町が妥当だという意見が出てくるのもうなげます。

藤田 生活圏が広域になっているし、役所まで行かないと手続きができない時代ではないので、合併によるサービスの低下はないと思います。

もいえる診療所、有線など他からみたら必要ないものと思われ、やがてなくなっていく可能性もあるかもしれないということ。す。



農村だけでなく都市でも
人口は減っていく。
たくさんの選択肢の中で暮らせる
活力ある町づくりをめざしたい。



町長 学校の規模が小さくなって、部活動に支障をきたしてはいるが、中学校を選ぶという考え方は気がつきませんでした。また確かに、保育園から中学校まで一緒というのは、けんかや問題もない代わりに刺激もなくひ弱であるといえます。

子どもセンターは異年齢ではあるが、二つにすると認可にならないことから統合した経緯があります。

困るので、町の幼稚園に入れたけど、葛藤もぶつつけあえない環境はある意味でかわいそうだと思います。いろんな体験して子どもは成長していくと思いますから。
伊藤 井川は閉鎖的な部分がありましたが、昔、村意識が強くて自分の集落から他の集落に行くにしても、喧嘩してでもという意識があつて、切り開いていったものです。また息子が小学校6年生の時、転入したときも異分子が入ってくると、井川の人だけでまとまってしまいう傾向があり、溶け込むまで難儀しました。

藤田 日本は、部活動を学校教育のなかでやっているの、地域格差がでてきます。外国では地域でクラブチームができていて、その中でがんばっていきます。日本でもその構想があり、そのいい例としてサッカーのJリーグがあります。

町長 ヨーロッパの学校にはほとんどグラウンドはなく、体育館もあっても小さいものです。子どもから大人まで地域や地元のクラブチームに所属して、活動しています。

鷲谷 少子高齢化の時代で老人一人を若者3人で支えることになるなど、迷惑をかけるなど思うことがあります。

町長 今の町の予算は約30億円。税金と諸収入で5億円しか入らないこの町は、最低でも20億円ないと運営が難しいのです。その差を地方交付税で賄っていることになります。その地方交付税は、人口をベースに算定されるので、人口が多いと当然多くなります。算定方法が変わらないにしても、このままでいくと、やがてこの町の交付税は10億円となり、税金も少なくなることになります。だから合併しなさいといわれますし、大きな自治体になれば権限も与えるということもできます。また合併には、生活圏が広がっているという側面もあります。

財政的に苦しくなれば、人件費を減らさざるを得なくなり、職員を減らしていくことになります。ただこのように思っています。

町長 それを延長していくと、五城目の朝市があります。ぜひ残していきたいもののひとつです。対面商法は、魅力のあるものだと思います。

工藤 ごみ処理問題が、男鹿・南秋地区で紛糾していますが、ごみ処理施設の共同設置町村によって、市町村合併が違ってくるということがあるでしょうか。もし合併したら、既存の処理施設を使わせてもらえないということはないと思います。十二月から秋田市へ搬入していますので、早く合併して、その町の施設を使わせてもらいたいと思います。(笑)

藤田 井川の川岸の草を払って整備し、駅から国花苑までさくらを植えて、桜並木をつくり、心なごむ自然を守ってほしいと思っています。

伊藤 田舎は「ホッ」とします。これは都会に出てみないとわからないし、井川を思い浮かべると必ず田んぼに水が張ってあって、カエルや小鳥の鳴き声が聞こえてくる。そういうなかで暮らしたいと思っています。合併しても決してなくすことのないようにしてほしいことです。

沢石 こういう自然のなかで生活していると、子どもの自然に対する感覚に違いが出てくると思います。「自分のふるさと」は、家は、井川だ。」



井川を思い浮かべると
田んぼに水が張ってあって
カエルや小鳥の
鳴き声が聞こえてくるのです。



町民が関心をもち、
自治意識を高める
必要がある。

金にしばれる合併ではなく、
夢と希望のもてる合併で
あって欲しい。



6回目の干支を迎えた。羊のように急がず焦らず、自分のペースでこのあとも暮らしていきたい。昨年は人生最高の宝（叙勲）をいただき、その榮に恥じないよう二人でがんばっていききたい。

主人 鷲谷 繁（昭和6年生まれ）～海老沢

おじいさんについてきてよかったと思っている。金婚・叙勲受章・家の新築と忙しいことが続いたが、うれしいことばかりだった。

若夫婦に協力して、気を抜かず、またがんばっていききたい。

私 ウメ子（昭和6年生まれ）



あけまして おめでとら ございます



家族安泰であればいいな。検査入院したけれど、また元気で働きたい。

おじいさん 三戸浅治（昭和6年生まれ）～今戸

家族みんなで旅行に行きたい。できたら温泉がいいな。

お母さん 宏子（昭和42年生まれ）

今年は無駄遣いしないようにしたい。岩手のおばあちゃんも未成年なのでプレゼントのマフラー編んでいます。

おじいさんも体に気をつけてね。

私 麻以（平成3年生まれ）



学校の教科では音楽が好きです。週1回ピアノのレッスンに通っていて、これからも続けていきたいです。読書も好きなので本もたくさん読みたい。「ハリーポッター」なんかおもしろかったなあ。

お姉さん 中村ともみ（平成3年生まれ）～羽立

図工や絵を描くのが好きです。中でもキャラクターを書くのが得意でよく書いています。読書も好きで推理小説はすぐ読んでしまいます。

私 あづさ（平成3年生まれ）

今年の干支は未（ひつじ）。動物として羊を見ることはあまりなくなりましたが、私たちの生活には羊から作られる様々な製品が使用されています。井川町で未年生まれの方は488人。また一世帯の中に、親子で、夫婦で、姉妹で、三代にわたって未年生まれのご家庭もあります。そういうみなさんに今年の抱負や近況をお伺いしました。

今年は未 ひつじ とし



地理的利便性から井川に転入したけれど、子どもにとっては辛い日々があったようで、反省している。今は近所からも声をかけていただいて楽しく過ごしている。3人の子供たちを中心に家族で協力し合っ

てがんばっていききたい。

お母さん 乳井尚子（昭和30年生まれ）～街道

転校したときは少し寂しかったけど、剣道スポ

に入って、友達もできたし今年は剣道を一生懸命が

ばりたい。

ぼく 孟（平成3年生まれ）



長距離の運転をしているので、無事故を心がけていきたい。仕事柄なかなか家のことをできないでいたので、今年はきちんとやっていきたい。

お父さん 伊藤博美（昭和30年生まれ）～上村

小学校最後の年なので、もっと相撲を練習して、家族を両国国技館に連れていけるようにがんばりたい。

ぼく 勝貴（平成3年生まれ）

今年長女が受験なので、がんばってほしいと同時に家族みんなで温かく見守っていききたい。子供たちは柔道や空手を習っているが、勝つことよりもケガをしないように気をつけてがんばってほしいと思っている。

お父さん 菅生清春（昭和42年生まれ）～井内

家族みんな健康で過ごせたらいいと願っている。

お母さん 香織（昭和42年生まれ）

空手を習っているが、なかなか勝てなかったの

で、今年は1つでも多く勝っていききたい。学校の教科では算数は得意だけれど、社会が苦手なので得意にな

るようがんばりたい。

私 愛里（平成3年生まれ）



人生の大きな節目である還暦を迎えます。健康に気をつけて、1日1日を大切に、物事をプラス思考に考えていきたい。お義父さん・お義母さんが弱くなって介護も大変になると思われ

ますが、若い夫婦が理解して協力してくれま

すので力強く思っています。

お母さん 斎藤アキ（昭和18年生まれ）～赤沢

人に対する心遣いを大切にしている。体に気をつけてがんばっていききたい。

主人 真実（昭和42年生まれ）

家族8人健康で、楽しい生活が送れるように願っています。子供たちが徐々に成長して、友達

が大切になってくると思うので、充分親子の思

い出が作れるようふれあっていききたいです。

私 豊子（昭和42年生まれ）

7月

第3回桜の森彫刻コンクール受賞作品決定

日本国花苑に野外彫刻を常設展示し、自然と文化が調和したやすらぎの空間づくりをめざして始まった桜の森彫刻コンクールも第3回目の開催を迎えました。審査は7月1日、町農村環境改善センターにて行われ、総数153点の中から、大賞1点、優秀賞2点、町民投票で決められる町民賞1点、準賞4点が決定しました。大賞と優秀賞、町民賞の計4点は実制作され、来春、日本国花苑に展示されます。

8月

はばたけ二十歳の若人 ～井川町成人式～

8月15日、町公民館で井川町成人式が行われました。今年の成人対象者は69人。(男性38人、女性31人)。式典では、町から「成人の証」と記念品が贈られ、参加者たちは成人としての気持ちをひきめました。

石井キヨさん（八幡）100歳に

八幡町内の石井キヨさん（世帯主・石井誠一さん）が8月30日、満100歳の誕生日を迎えられました。石井さんは明治35年生まれ。現在孫夫婦等6人家族で暮らしています。この日は町や県からの訪問に姉妹や親戚の方が駆けつけ、みんなでお祝いしました。

9月

秋田自動車道・昭和男鹿半島ICー琴丘森岳IC区間が開通

建設工事が進められてきた秋田自動車道・昭和男鹿半島ICー琴丘森岳ICまでの区間20.7kmの開通式が9月28日八郎湖サービスエリアで行われました。町を横断して南北に延びたこの自動車道の開通に交通の利便性の向上を喜び合いました。

- ・ごみの減量と分別、そして資源化をすすめよう ～全町女性の集い～
- ・対象者907名、うち100歳以上2名 ～敬老式～

10月

いざという時のために ～総合防災訓練を実施～

10月8日、八郎潟湖東部5町で構成する湖東部消防連絡協議会主催の総合防災訓練が井川町を会場に行われました。この訓練は防災機関・地域住民・企業・福祉施設及び教育機関などが一体となって、大災害を想定しながら災害時における避難、救助、防災体制の強化を図るため実施されました。この日はあいにくの雨模様でしたが、参加協力者総勢1,400人にもおよぶ大規模訓練となりました。

ゴールめざして、はずむ息 ～井川アップルマラソン～

10月20日、第17回井川アップルマラソンが町民体育館前をスタート～ゴールとして行われました。コースは色づいたリンゴが映える、10km、5km、3kmペアの3コース。沿道では家族や町の人たちが盛んにランナーたちへ声援を送りました。

11月

魅力ある地域づくりは私たちの手で ～いかわを拓く町民のつどい～

11月24日平成14年度いかわを拓く町民のつどいが農村環境改善センターで開催されました。今年度に入って市町村合併がにわかにクローズアップされ、県内の動きも慌ただしくなってきました。また国も政策的に推進しようとしています。そこで「自ら考え行動するまちづくり 魅力ある地域づくりは私たちの手で」をテーマに、まちづくりへの取り組みや思いを語って、まちづくりを考えました。

- ・新会長に山崎光夫氏 ～第14回首都圏ふるさと井川会～
- ・鷺谷繁氏が勲六等単光旭日章を受章しました。
- ・第39回産業祭、第31回文化祭が開催されました。
- ・SL走る ～駅開業100年記念SL号 井川さくら駅に停車～

12月

強いぜ！井川 ～全県秋季バスケットボール大会～

井川中学校男子バスケットボール部は全県秋季バスケットボール大会で優勝しました。これは2年連続2度目の優勝を果たし、強い井川を内外にアピールしました。



いろいろなこと
ありました

ふりがえって
みると

1月

地域の安全に意気新た ～井川町消防団出初め式～

1月5日、井川町消防団出初め式が町公民館で行われました。「消防関係者の団結と英知を結集し、住民の平穏と安全を守りたい」と中山金四郎井川町消防団長（小今戸）があいさつし、年間無火災の呼びかけと地域の安全への思いを新たにしました。

2月

ホームステイで雪国体験 ～早稲田大学留学生ホームステイ～

日本の雪国の生活を体験しようと、早稲田大学の留学生が井川町を訪れました。今回訪れたのは中国、タイ、インドネシア、カナダからの留学生4人。3泊4日の日程で町内の家庭やお寺にホームステイ。きりたんぼなどの郷土料理や茶道、座禅など日本の文化に親しみました。

健康をつくろう！ ～いかわを拓く町民のつどい～

2月27日「いかわを拓く町民のつどい」が町民体育館で230人の町民が参加して開催されました。平成13年度のテーマは「健康であることを喜び合えるまちづくり」。会では地域での実践活動事例が紹介された後、健康づくり運動の実技指導では参加者が手を振り、足踏みなど楽しく体を動かしました。

3月

旅立ちの季節に・・・

風が春めくこの季節、町でもこどもセンターや小中学校では旅立ちの時を向かえました。一人ひとりの成長の節目に別れの涙と希望の笑顔がありました。
井川小学校卒業生 55人・井川中学校卒業生 55人・井川町こどもセンター 71人

4月

わが町の将来像 ～秋田県知事の“市町村合併トーク”in 井川町～

国では平成17年3月までの合併を条件とした「合併特例法」を打ち出し、合併を推進しています。また県では寺田典城知事自らが県内各市町村に出向き、合併に関する意見交換会「合併トーク」を行いました。井川町においても4月22日、農村環境改善センターにて県知事をはじめとする県関係者を迎え、町からは町長、町議会議員、一般住民が参加し、将来のまちづくりについて語り合いました。

日本国花苑さくらまつりが開催される

日本国花苑さくらまつりが4月27日から5月6日までの10日間開催されました。期間中は天候にも恵まれ八重桜が満開を迎えた中で、多くの観桜客で賑わいました。また今年新たに第2回桜の森彫刻コンクール受賞作品4点が苑内にお目見えし、彫刻鑑賞を楽しむ人々の姿が見受けられました。

5月

ゴールめざして、一步、二歩

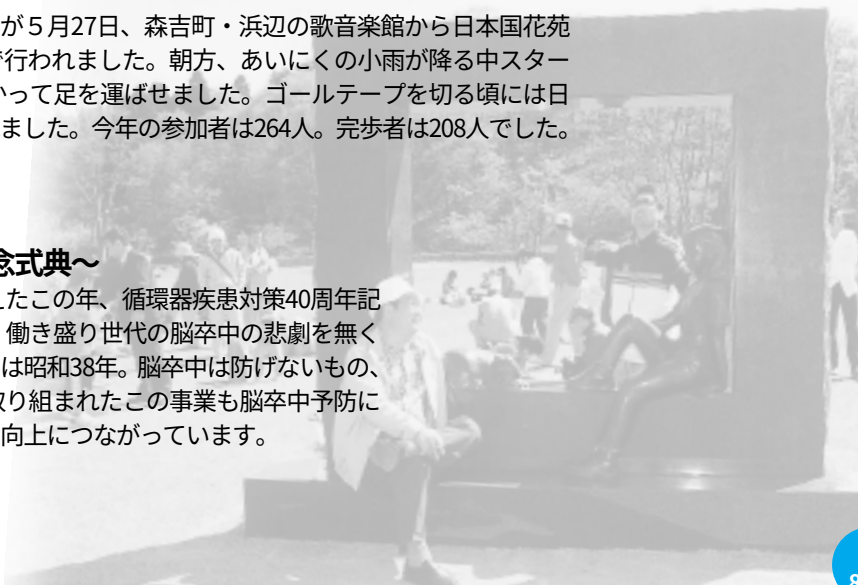
“第11回あきたリゾートラインはつらつ歩こう会”が5月27日、森吉町・浜辺の歌音楽館から日本国花苑までの国道285号線に沿って約42.195kmのコースで行われました。朝方、あいにくの小雨が降る中スタートした参加者たちは一歩ずつゴールの国花苑に向かって足を運ばせました。ゴールテープを切る頃には日差しが差し込み、完歩者にも達成感の笑顔があふれました。今年の参加者は264人。完歩者は208人でした。

6月

継続は力なり ～循環器疾患対策40周年記念式典～

井川町が循環器疾患対策に取り組んで40年目を迎えたこの年、循環器疾患対策40周年記念式典が6月12日、町民体育館にて行われました。働き盛り世代の脳卒中の悲劇を無くすことを一番の目標に掲げたこの事業が始まったのは昭和38年。脳卒中は防げないもの、運命的なものと思われていた当時、他に先がけて取り組まれたこの事業も脳卒中予防に大きな成果をあげ、現在では町民の健康管理意識の向上につながっています。

・公共下水道、農業集落排水事業竣工



議会

12月定例議会

12月定例議会が、12月10・11日の2日間の会期で開かれました。町長の行政報告、2議員の一般質問が行われたあと、上程された議案について審議が行われ、一般会計補正予算など22議案・1推薦議案を原案通り可決し、閉会しました。行政報告の要旨、可決された主な議案についてお知らせします。



行政報告要旨

米・大豆の出荷状況と生産調査

米の出荷数量は、うるち米モチ米併せて6万741俵となっており、出荷率は87・1％で当初の目標数量

より9、000俵余り少なくなっています。その原因は、作況指数は平年並みの99となつていますが、出穂期以降の日照時間が著しく少なく米の充実度が不足したためと思われます。また、今年のカントリーエレベーターの利用については、概算処理量で990トンと予想され、昨年より約90トン程度利用量が増えています。等級比率については十一月末現在の一等米比率は74・6％と県平均の82・6％より8ポイント低くなっており、昨年との比較でも5・2ポイント下がっている状況です。その原因についてはカメムシ及びくさびによる着色粒が大きく影響しているものと考えられます。

次に大豆の収穫と出荷については、長雨と雪害により収穫時期が大幅に遅れ、減収や品質低下等極めて憂慮される事態となっています。本町でも収穫不可能な圃場が約7ヘク

タールあり、農協では雪害対策本部を設置しその対策にあたっています。国では、平成二十二年度までに農業構造の展望と米づくりの本来あるべき姿の実現を目指す公表しており、今後は、農家と生産者団体が自主的に取り組むこととなるため、それに向けた体制づくりを進めて行くことが必要と考えております。また、来年度の転作面積については、全国で5万ヘクタールの上乗せを決定していることから、本町も更に増えるのは確実な状況であり、配分を待つて水田農業推進協議会を開催し、来年の一月末までには個人配分出来るよう作業を進めます。

一般廃棄物の広域処理は

湖南衛生組合の現有炉に対してダイオキシン対策を施すと同時に、七町村から排出される可燃ごみの全量を処理できるよう改修できないか等について検討したところでありま

す。
①湖南衛生組合の現有炉について、環境アセスを要しないダイオキシン発生抑制対策としての改修を図り、それに伴う各市町村の費用負担については、今後の協議により決定する。
②新焼却炉の建設整備に伴う環境アセス実施、建設用地の購入等について新年度より進める。
③男鹿・南秋管内のごみ焼却について、湖南と男鹿市の二炉を活用して

処理する方向性を見い出せないか男鹿市と協議する。
現在新たな一部事務組合の立ち上げについて、事務レベルで準備を進めているところでありま



井川町文化功労賞 学芸文化賞の制定

町の学術文化の一層の振興を図ることを目的に、「井川町文化功労賞並びに学芸文化賞表彰」の規程を制定し、本町の文化の発展に貢献された個人、団体を顕彰することとした。規程には、「文化功労賞」と「学芸文化賞」の二つの賞を設けております。「文化功労賞」は、長年教育、芸術、文化等の振興に貢献し、その功績が顕著な人を対象としており、「学芸文化賞」は、学術文化の各分野において優れた成績を収めた個人、団体を顕彰するためのものです。平成十四年度の「文化功労賞」については、横岡町内の伊藤孝之助氏を選定しました。

井川さくら駅の停車列車増加

快速列車停車以来新たに列車を利用する町民も予想以上に増えてきている現状にあり、この度の十二月ダイヤ改正を機に急行「よねしろ号」が快速列車として、当井川さくら駅に十二月一日から停車いたしております。これにより、更に利便性が大きく向上するものと考えております。

市町村合併について

本町では、先に実施されたアンケート調査、また、今年の五月下旬から六月上旬に行いました「まちづくり懇談会」では、各町内で若干の意見の違いはあったものの、総体的に

は、慎重論が大多数で、仮に合併するにしてもいろいろな見地から、合併範囲は湖東五町が妥当との認識であります。

この後、合併についての分かり易い資料の全戸配付、必要に応じて座談会の開催、アンケート調査の実施などを考えております。合併は、町の将来や私たちの生活に深く関わる大きな問題であり、また、相手のあることで非常に難しいことです。町民一人ひとりが意見を出し合い議論を重ねることが大事であると思いま

首都圏ふるさと井川会

去る十一月十六日、東京都の日本青年館で第十四回首都圏ふるさと井川会の総会が開催されました。出席



公共工事の発注状況

次に工事の発注状況についてです。

▽平成十三年災道路舗装凍上災害復旧工事、第二九五号工事今戸海老沢線は1338万7千500円、第二九六号工事羽立五号線は2178万

7千500円、第五二二号工事街道上村二号線は351万7千500円、第五二三号街道海老沢線は265万6千500円で町外業者に落札し、竣工しております。

▽地方特定道路路側柵事業坂本井内線舗装工事（仲台地内）は1900万5千円で町外業者に落札、改良工事（井内地内）は2142万円で町内業者に落札しました。

▽ふるさと農道緊急整備事業小今戸四号線整備工事（第二区）は2073万7千500円▽天神新聞線整備工事（第二区・宇治木地内）は468万3千円で、いずれも町内業者に落札しました。

▽公共下水道事業マンホールポンプ設置工事（小泉・宇治木地内）は1638万円で町外業者に落札しました。

可決された 主な案件

- ◆任期満了に伴う人権擁護委員に、伊藤典美子さん（今戸）を再任しました。
- ◆一般職員の給与、手当を引き下げました。
- ◆一般会計に8,980万円を追加し、予算総額を32億4,830万円としました。補正の主なものは
- ・定住センター風呂循環制御改修工事費等に286万円。
- ・森林整備地域活動支援交付金204万7千円。
- ・天神地内への町営住宅五戸建設費に6,691万5千円。
- ・農業用施設災害復旧費に227万9千円。
- ・減債基金への積立金6,000万円の追加等です。
- ◆国保事業特別会計を851万2千円減額し、総額を4億8,220万1千円としました。老人保健医療費拠出金や給与改定に伴う人件費等の減額によるものです。
- ◆介護保険事業特別会計に69万8千円を追加し、総額4億238万1千円としました。介護報酬見直しシステム改修委託料等によるものです。
- ◆井川町診療所特別会計を350万円減額し、総額で2億380万円としました。給与改定によるものです。
- ◆老人保健特別会計に90万円を追加し、総額7億5,166万5千円としました。医療費支給費の追加によるものです。
- ◆下水道事業特別会計に290万円を追加し、総額3億7,890万円としました。枝線管渠費の工事請負費等への追加によるものです。
- ◆介護サービス事業特別会計に932万7千円を追加し、総額2億7,093万3千円としました。短期入所生活介護サービス事業費等の追加によるものです。





鍋を囲むと話ははずみます

12/4

みんなで食べるっておいしい

～一人暮らし高齢者激励会～

師走に入って、今年も一人暮らしのお年寄りに元気で長生きをしてもらおうと、激励会が12月4日老人福祉センター「ゆうゆう」で開かれました。湯気の立ちこめるきりたんぽ鍋を囲んで、お年寄りの皆さんは、にこにこ顔です。民生児童委員の方々は日頃、一人で寂しい思いをしているのでは、と趣向を凝らした余興を披露しました。会場は、大きな笑いに包まれていました。

井川町三校PTA連絡協議会



静かなやさしい語り口調がみんなをひきつけます

12/7

とっぴんぱらりのプー

三校園（幼稚園・小・中学校）PTA連絡協議会は12月7日健康センターで「昔語りを聞く会」を開きました。

当協議会は、毎年研修会を開催していますが、今年は方言による郷土の伝説や昔話を親子で聞いてもらおうと、横手昔語りの会をお招きしたものです。

当日は多数の親子連れが集まり、「ねずみのすもう」や「かさじぞう」のお話に熱心に聞き入っていました。大人向けのお話もあり、親子で楽しむことができました。



11/29

縄ないって難しいね

井川高齢大学生と小学校3年生とのふれあい学習会が11月29日午後、井川小学校で行われました。

ふれあいタイムでは、縄ないを高齢者の方々から教えていただきましたが、児童たちは悪戦苦闘です。

勝田紗世さんは「ワラをくるっと回して、なっていくのは本当に難しい。」鈴木金雄さんは「はじめはじょうずにえなかったが、だんだんうまくなって、手を取って教えなくても良くなった。」と話しておりました。

そのあと、午前中に高齢大学生の皆さんが準備しておいた縄を注連飾り用に飾り付けていきました。



おじいさんが手をとって教えてくれました。



先生にとっても縄ないは難しいんです



ワラはなかなか縄になりません

12/4

ぼくの歯 汚～い？

小学3年生の親子を対象に、井川小学校で歯磨き指導が行われました。

保護者の方から子供たちに染め出し用の薬剤を塗ってもらい、歯垢のチェックです。井川町歯科診療所の歯科衛生士さんから、「なぜ歯を磨かなければならないのか」や「歯の磨き方」等の指導を受けました。保護者の方には、歯ブラシの選び方などを指導し、時々はお口の口の中をチェックしてほしいと話されました。

子供たちは、よく見ることになった自分の歯をまじまじと見ては、歯科衛生士さんのお話に納得していました。



ボクの口の中 よくみてみました

12/8

雪の中のロードレース

国花苑20Kロードレースが12月8日雪の降りしきるなか、日本国花苑「定住促進センター」前をスタート地点に行われました。遠くは福島県や弘前からの参加者を交えて20人の方が参加しました。

この大会は、時差スタートというユニークな手作りの大会で、根強いファンがレースを盛り上げます。

雪国のランナーにとっては1年を締めくくる貴重な大会となっているようです。



雪の中を元気にスタートしました

12/15

第18回井川町オープンバレーボール大会

男子

- 1位 ファイアーズチーム
- 2位 JAあきた湖東チーム

女子

- 1位 中学校2年生チーム
- 2位 小今戸ひまわりチーム

第5回井川町ソフトバレーボール大会

- 1位 街道チーム
- 2位 どすこいずチーム

スポーツ
の結果です

12/7・8

第33回秋田県中学校新人バスケットボール大会

～秋田市立体育館～

男子

優勝 井川中



2年連続2度目の優勝を果たし、報告にきてくれました。

1月のカレンダー

4日(土) 全県ミニバスケットボール大会
柔道スポ少交流競開き大会

5日(日) 消防団出初め式

6日(月) 役場仕事始め

7日(火) 商工会新年祝賀会

14日(日) 井川町献血日～全血献血
幼稚園、小・中学校3学期始業式

19日(日) 全町バスケットボール大会

22日(水) 町長選挙立候補予定者説明会

2月

1日(金) 井川町合同厄払い・還暦祭

町関係施設新年の業務

施設名	1日	2日	3日	4日	5日	6日
診療所	×	×	×	×	×	×
ゆうゆう	×	○	○	×	×	○
定住促進センター	×	×	×	○	○	○
ごみの収集	×	×	×	×	×	○
役場	×	×	×	×	×	○

(×は休み)

図書券が当たる

広報クイズ №139

◆今月の問題

(1)市町村合併に関するあなたの考えをお聞かせ下さい。

(2)今年の未年生まれの方は井川町で何人いますか。

◆応募の方法

ハガキに答、住所、氏名、年齢、世帯主名を記入してください。

◆あて先

〒018-1596 井川町北川尻字海老沢樋ノ口78-1
井川町役場 情報課 広報係

◆しめきり

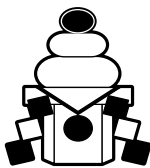
1月20日(当日消印有効)

正解者の中から抽選で5人の方に図書券をプレゼントします。

前回の答えは、わが町の町づくり「自ら考え 行動する まちづくり 魅力ある地域づくりは 私たちの手で」 勲六等単光旭日章 ー②14回でした。当選者は次の通りです。

鎌田嘉代子(今戸)、伊藤友子(大倉)、遠藤隆幸(今戸)、藤田明子(新屋敷)、松田悟(新屋敷)さんに図書券をお送りします。

たくさんの応募をお待ちしています。

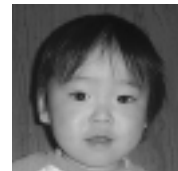


ぼくたちむしばなかったよ

1歳6ヶ月児健診でむし歯のなかった子どもたちです。



高橋由希菜ちゃん
(新 聞)



渡部颯真ちゃん
(宇治木)



伊藤悠良ちゃん
(今 戸)



沢石隼哉ちゃん
(井 内)



斉藤萌子ちゃん
(赤 沢)



林 誠也ちゃん
(街 道)



小野 諒ちゃん
(羽 立)



伊藤夢璃ちゃん
(田 中)

保健だより●1月分

2歳児歯科健診・すくすく学級・乳児健診

月 日	健 診 名	対 象 者	内 容	受付・会場
1月21日(火)	2歳児歯科健診	平成12年8月～12月生	歯科検診	13:00～13:30 健康センター
1月28日(火)	すくすく学級	平成14年10月生	離乳について(試食) 神経芽細胞腫の説明	9:30～9:45 健康センター
	乳 児 健 診	平成14年9月・6月3月・1月生	身体計測、保健指導 内科診察、栄養指導	13:00～13:30 健康センター

・健診の時は問診票、母子健康手帳、バスタオルをお忘れなく。
・7カ月児は、離乳食指導がありますので、1時までに受付を済ませて下さい。

健康相談・母子健康手帳交付・わいわい広場

月 日	事 業 名	内 容	会 場
1月6日 20日 (月)	健康相談	骨密度測定 健康、栄養に関する相談など	9:00～17:00
	母子健康手帳交付	母子健康手帳・妊婦健康診査受診票交付 保健指導、栄養指導	健康センター
	わいわい広場	乳幼児・親等が対象。みんなで遊び、情報交換、相談(栄養、歯他)もできます	9:00～17:00

麻しん予防接種

月 日	対 象 者	受付時間	会 場
1月9日 (木)	・13年1月1日～13年12月31日生 ・7歳6ヵ月未満で未実施の子	13:30～14:00	診 療 所

日本脳炎予防接種

月 日	対 象 者	受付時間	会 場
1月23日 (木)	1期初回 ・11年1月1日～11年12月31日 ・11年2月1日～12年1月31日生 ・7歳6ヵ月未満で未実施の子	13:30～14:00	診 療 所

食生活改善学級

月 日	対 象 者	内 容	会 場	会 場
1月31日 (金)	学 級 生	・レクダンス ・グループワーク ・平成14年度の反省 ・平成15年度の事業について	13:00～	健康センター

◆知識のユニバース「放送大学」

平成15年度第1学期(4月入学)学生募集

放送大学はテレビ・ラジオ(スカイパーフェクTV!)で授業を行う、正規の大学です。

【教養学部】人文・社会・自然・産業等幅広い分野の約300科目から好きな科目を1科目からでも学習できます。
【大学院】66科目から好きな科目を選んで学習でき、高度で専門的知識・技術を習得したい方、企業で働く方や自治体職員の研修に最適です。

【募集学生】教養学部と大学院の修士科目生

	教 養 学 科			大 学 院	
	全科履修生	選科履修生	科目履修生	修士全科生	修士科目生
在学期間	10年まで	1年	6か月	5年まで	6か月
募集回数	年2回	年2回	年2回	年1回(9月)	年2回
入学時期	4月・10月	4月・10月	4月・10月	4月	4月・10月
入学試験	なし	なし	なし	あり	なし
入学資格	高校卒業18歳以上	満15歳以上	満15歳以上	大学卒業22歳以上	満18歳以上
修了時の資格	124単位で学士(教養)			修士(学術)	

【募集期間】12月15日(日)～平成15年2月28日(金)

【資料請求・問い合わせ】

放送大学秋田学習センター

☎018-831-1997

放送大学ホームページ

http://www.u-air.ac.jp/hp

高校生のためのピアカウンセリングLOVE YOURSELF～今の自分を見つめてみよう～

自分の恋愛のこと 体のこと 勉強のこと 将来のこと…
心の中にモヤモヤした気持ちはない? 今の自分は好き?
・・・自分らしく生きていくってどういうこと?

今悩んでいることを自分自身で解決していくために、ゲームやトークを通じて、大学生の先輩と一緒に、明るく!そしてマジメに! 考えてみない? ひとりで参加してもいいよ 友だちと一緒にでもいいよ! 待ってるネ!

日 時:平成15年1月19日 10:00～15:00

場 所:ジョイナス(秋田市千秋明徳町2-52 秋田県民会館となり)

参加費:無料(参加者には昼食、記念品を準備しています。)

定 員:先着20名

主 催:秋田県秋田中央健康福祉センター(南秋田郡昭和町乱橋字古閑172-1)

※参加希望の方は平成15年1月10日 まで秋田中央健康福祉センター疾病予防・医薬班(担当:清水)に申し込んで下さい。(電話018-855-5170)

メールでも受け付けています。(Email:ahw@pref.akita.jp)

◆第3回くらしとおかね体験作文コンクール

■募集部門

第1部門『金融資産の運用、管理』

金融資産の運用面でのリスク管理や金融資産保護のための工夫や努力を巡る体験を題材とする作文。

第2部門『生活設計と家計運営』

出産・教育・住宅購入・老後の生活等を展望した中・長期的な生活設計や日々の家計運営における工夫や努力を巡る体験を題材とする作文。

第3部門『子どもとお金』

子どもに対する金銭教育、経済教育についての家庭や地域、学校などにおける取り組みを巡る体験を題材とする作文。

■応募要項

・A4判横の用紙に2,000字程度(ワープロ可)縦書き、右上綴

・3部門のうち応募部門と作文タイトルを明記。

・応募者の氏名、郵便番号、住所、電話番号、職業、年齢、性別、同一家計で暮らす家族の応募者との続柄、年齢、学年を明記。

■応募資格 昭和62年4月1日以前生まれの方。

■表 彰 特賞20万円～佳作5千円商品券

■発 表 平成15年6月下旬頃

■送り先

金融広報中央委員会

「くらしとおかね体験作文」係

〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1

TEL 03-3277-2579

◆～子どもの

健やかな成長支援～

母子健康づくり 支援者育成研修会

母子保健に熱意があり、地域における実践活動者として活躍のできる方を募集しています。

研修会参加を希望する方は、健康センター

TEL 874-3300

(有)4455

にお問い合わせ下さい。

締め切り1月7日

今月のお知らせ

見て!
みて!



信州高山村トレッキング

遠藤修子（長野市住・街道出身）



主人の転勤先である長野市に移り住んで八ヶ月になる。初めは誰一人知り合いもなく寂しい思いもしたが、最近友達もたくさんでき、出かけるのが楽しい毎日を送っている。

十月五日長野市の隣村で、群馬県境に位置する信州高山村の紅葉トレッキングに主人と出かけた。高山村は志賀高原、群馬県万座と

隣接、標高約五百メートルに位置し、晴れた日には遠くは北アルプスから善光寺平まで一望することができ、有名な観光地がたくさんある長野県の中で、高山村は人知れずひっそりとした感があり好きな土地である。

コースは県境の毛無峠（標高千八百メートル）から麓のエンマ橋までの林道を下るもので、二人とも十キロメートル（標高差六百メートル）の砂利道には閉口したが、深い渓谷と燃え立つような美しい紅色や、鮮やかな黄色にため息しては立ち止まり、シャッターを切っていた。

このトレッキングは二日間行われ、遠くは山口県や東京、埼玉県

などから泊まりがけで来ている人などを含め、五百人が参加すると聞いて驚かされた。やつのこと、で麓に辿り着くと、駐車場には地元の人でいっぱい、中でもぶどうの新種「しなのスマイル」にハマッテしまい、「かあちゃんのか」と言う直売所まで連絡し、再度買い求めたほどだった。

最近「秋田は良いところ」と聞かれるたびに、きれいな国花苑のこと、おしゃれな井川さくら駅のこと、国花苑から見た景色、自然の美しさ等々、これほど時間を掛けてよく話せるものだと自分自身感心するほど、井川町の観光大使に成り切っている。

わが家のアイドル



浅野 克弥ちゃん（二歳）

今戸 父・憲一さん
母・美佐さん

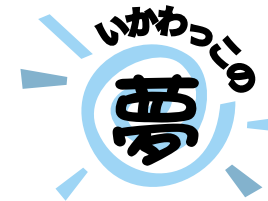
やんちゃで いたずら好きの克弥
あなたの寝顔 泣き顔
笑い顔のすべてが
我が家の宝です。
生まれてきてくれて
本当にありがとう…。

短歌

井川短歌会詠草

食べ方の言葉も添えて隣畑の畑は珍しき野菜呉れたり
年の瀬を色鮮やかな千両と松とを生けて新春を待つ
大輪のアマリリス咲く元旦に幸せ多き年を祈りぬ
年の瀬の近きをひと感じつつ雑事に追われひと日過ぎゆく
遠い日の祖父の温もり思いつつ「昔語り」を孫と聞きおろ
白神の雪の山々眺めつつひと日はからりと温泉に浸る
喜寿なれば恙無きこと願いつつ独りで迎う今年の初日
深々と宵から積もる牡丹雪木々と芥も白銀の世界
健やかに望みを持ちてめぐり来る千支六回目の新年を待つ
新年の言葉明るく交わし合う家族のありて心やすけり
小さき夢も抱けば胸はほの温し六十の峠を越えんとしつつ

小林 喜作
鈴木 鉦造
伊藤 陽子
伊藤 千代美
遠藤 恵美子
小林 タミ
工藤 美穂
渡部 光造
児玉 千代子
伊藤 ミヤ子
すぎき いさむ



湊 倫成さん（坂本）
空手の先生になって
きちんと指導したい
と思います。



藤田尚史さん（坂本）
お金をためて自分の
ガソリンスタンドを
もってみたい。



島山祐輝さん（街道）
ぼくは、プロバスケット選手になってシューターになりたい。



鷺谷彩紀さん（海老沢）
デザイナーか、ネイルアーティストになりたいです。



松岡里子さん（仲台）
保母さんになって子供達に好かれる先生になりたい。



遠藤 和さん（小今戸）
後列左
秋田北高等学校 2年
バスケットボール部

ガンバール高校生 144

小学校ではミニバスケット、中学校では部活動とずっとバスケットボールを続けてきた遠藤さんは大のバスケットボール好きです。走ることは苦手、と謙遜しながらも「バスケットボールはみんなが助け合ってできるスポーツだから大好き。」と言います。監督の山本先生も「気持ちのやさしい子だ。」

バスケットの技術面も優れていてシューターとして得点のできる選手なのに、時としてその優しさが災いする時もある。」と話してくれました。

北高バスケットボール部員は27名。その中から5人のメンバーに入ることは確かに大変です。先日、中央地区の新人戦では準優勝、お正月のあとは全県大会の新人戦が待っています。だからお正月はあんまりのんびりできないとか。3年生の時の目標は？ との質問に、「全県大会でV4になれたらいいな」と、こちらも控えめに応えてくれました。家では、お母さんがバレーボール、弟が野球部、妹がやはりミニバスケットボール部に入っていて、スポーツマン一家です。今夜もスポーツ談議に花が咲きます。

みんなのひろば

リチャードの
楽しい英語の
時間です



このコーナーは、毎週水曜日、有線放送の夜の定時放送で放送されます。ひとくち英会話のテキストとしてご利用ください。

今月はかぜと病気の英語を勉強しましょう。

風邪の時

I have a cold.
私は風邪をひきました。

Do you have a cold?
風邪をひきましたか？

ときどきhaveのかわりにcatchを使います。
たとえば
I have a cold. …………I've caught a cold.
Do you have a cold. …Did you catch a cold?

頭が痛い時

I have a headache.
頭が痛い！

Do you have a headache?
頭が痛いですか？

Would you like an aspirin?
アスピリンが欲しいですか？

じゃ、風邪をひかないようにお大事に！
See you next month!